

目次	
1.概要	2
2.インストールと設定	3
3.ファイルやフォルダの暗号化	4
4.暗号化ファイルの復元	5
5.情報の取得	6
6.暗号前と暗号化後(簡単な効果の説明です)	7
7.注意点・その他	8

1.概要

本ソフトウェアは、極めて強固なエヌクリプト社製暗号アルゴリズムを搭載した、ファイル及びフォルダ暗号圧縮ソフトウェアです。本製品の暗号アルゴリ ズムには以下の特徴があります。

暗号アルゴリズムの特徴

エントロピー制御

平文(元ファイル)のエントロピーに依存せず、暗号化ファイルのエントロピーを一定の目標値に制御します。更に同じ平文を暗号化した場合でも毎回異なる結果になります。また、0が続くような単純なパターンの平文を暗号してもパターン性のない複雑なファイルになります。

既存の暗号アルゴリズムを多数内蔵

一般的な暗号アルゴリズムを複数実装しており、独自の暗号アルゴリズムを組み合わせ、様々な暗号アルゴリズムのメリットを共有します。内部に組み込まれている暗号アルゴリズムは最低 7 種類に及び、これらの組み合わせて暗号化します。

暗号鍵に関する独自のアルゴリズム

鍵の非転送、多重鍵、可変長鍵などを組み合わせ、暗号強度のボトルネックになる鍵についての問題にも切り込んでいます。

独自の非線形暗号アルゴリズム

再現性や周期性の殆ど存在しない強固な暗号アルゴリズムを随所に導入しています。

<u>パスワートのみに依存しないセキィリティ</u>

専用の USB デバイスが暗号紋(個性)の役割を果たしており、パスワードが一致しても、この USB デバイスがないと暗号が解除できない 仕組みです。この USB デバイスは 1 台 1 台に暗号紋(個性)が割り振られており、同じモノが存在しません。

優れたセキュリティポリシーと使い勝手

暗号ファイルの復元期限(賞味期限)を設定できる。暗号ファイルの復元回数制限を設定できる。暗号紋(個性)を無効にしてグループ IDを割り振る事が出来るので、特定グループで使用ができる。パスワード不一致が指定回数を超えると復元できなくなる。USB デバイス を紛失した場合のレスキューが可能・・・・など単なる暗号アルゴリズムだけではなく、周辺のセキュリティ機能が充実している。

<u>平文の残骸が残らない</u>

暗号化した後に、平文(元ファイル)の置いてあったセクタに残る情報も完全に消し去る、ディスククリーナーが連動します。(元ファイルは消 し去っても、セクタに残骸が残っています、本ソフトウェアはこの残骸も消し去ります)

<u>高速·大容量</u>

極めて複雑なアルゴリズムであるにも関わらず、高速処理です。また2GByteを超える大容量ファイルも扱えます。これらによって、大容量のDTPコンテンツや動画コンテンツなどのバックアップにも最適です。

ハードウェア暗号版もラインナップ

ソフト・ハード混在暗号が可能な上位版があります。このバージョンではコンピュータのタイマを使わないので、暗号解除可能 な復元期日(賞味期限)の設定を確実に守る事が出来ます。更に暗号アルゴリズムをハードウェアとソフトウェアに分散しており、クラッキン グに強い設計です。詳細はお問い合わせください。

ソフトウェアの特徴

超簡単操作・インストール不要

ある程度コンピュータに慣れている人であれば、本製品のソフトウェアは殆どマニュアルなしで短時間で使いこなす事が出来ます。またUSB デバイスから起動するか、或いはハードディスクにコピーするだけで使えるので、OS にインストール(セットアップ)する必要がありません。移 植は USB デバイスと本製品のアプリケーションフォルダを移動するだけです。

ファイルとフォルダの暗号に徹したシンプル設計

ファイルを暗号するか、それともフォルダを圧縮して暗号するかを選択できます。ファイルは暗号化した後に、元ファイルを完全削除する設定 を選択できます。(フォルダの場合にはこの設定はできません)

各種設定が可能

暗号ファイルの復元期限(賞味期限)、暗号ファイルの復元回数制限、グループ ID、パスワードの自動入力、ワークディレクトリの指定な ど、利用者の使い勝手に合わせた各種設定・保存が可能です。

<u>対応 OS</u>

WindowsXP(32Bit), WindowsVista(32Bit/64Bit), Windows7(32Bit/64Bit), Windows8(32Bit/64Bit), Windows8.1(32Bit/64Bit), Windows10(32Bit/64Bit))で動作可能です。

2.インストールと設定

特にインストール作業はありません。製品として提供される USB デバイスの USB¥CryptoConsole の中身を任意のフォルダにコピーしてください。 或いは USB デバイス自体から起動させてもかまいません。アプリケーション(USB¥CryptoConsole¥CryptoConsole.exe)を起動して"設定" ボタンをクリックしてます。以下の画面が開きますので、ここで基本的な設定を行ってください。設定は後から何度でも変えることが出来ます。 これらの設定情報は、CryptoConsole.exeと同一フォルダの CryptoConf.bin に保存されます。



①作業フォルダの指定: "フォルダを開く"ボタンをクリックすると、"フォルダの参照 "ダイアログボックス(右図)が開きますので、作業フォルダを指定して OK をクリック します。ファイルの暗号化やフォルダの暗号化、暗号ファイルの復元を行う場合、こ こで指定した"フォルダ"を優先して参照します。作業フォルダは"フォルダを開く"ボ タン右のテキストボックスにフォルダ名が現れます。フォルダ名が長い場合、このテキ ストボックスに入りきれない事がありますが、その場合には隠れている方向にドラッ グすれば、スクロールして見えない部分が現れます。

②暗号化後の元ファイルの扱い: このボタンをクリックして元ファイル(平文)を削除するか否かを切り替えます。元ファイルが削除できるのは、ファイルの暗号の場合のみで、フォルダの暗号では元ファイルは自動では削除されません。元ファイルを削除する場合、ファイルが消えるだけでなく、ファイルのあったセクタの残像情報も完全に消去します。

③暗号紋とグループ ID の切替: 鍵要素の一部に、暗号紋(USB デバイスの 個性)を方法、グローバル ID を使う方法を選ぶ事が出来ます。例えば暗号ファイ ルをメールで知人に送る場合には、同じ暗号紋の USB デバイスは存在しません

から、この場合にはグローバル ID を使わなければ成りません。知人とのグローバル ID が一致していれば、あとはパスワードをクリアすれば暗号ファイルを 復元することが出来ます。暗号紋を使った場合、その USB デバイス以外では例えパスワードが一致しても、暗号ファイルを復元することは出来ません から、暗号強度を高めることが可能です。

④暗号ファイルの復元期限: ここで指定した期日(半角英数字)を過ぎると、暗号ファイルの復元を阻止します。一番右のチェックボックス(無期限に する)を選択すると、復元期限の設定は無効になり、永久に復元できるようになります。

⑤復元回数制限: 暗号ファイルの復元回数を制限します。ここで指定した回数(半角英数字)を超えると、復元はできなくなります。10000回を 超える設定を行うと、この設定は無効になり、実質無限回数になります。この機能を有効にしている場合、CDやDVD等の書き換え不可能な光学 メディア等での作業はできなくなります。この場合、HDDやUSBストレージなど書き換え可能なディスク、メディアで運用すれば暗号ファイルの復元が 可能になります。

⑥固定パスワード: データのバックアップなど、毎回同じ作業を行う場合、パスワードの入力が面倒ですし、入力ミスの可能性も高まります。そこで、この部分のチェックボックス(パスワードを毎回入力しない)をチェックしておくと、パスワードは毎回自動入力されるようになります。自動入力するパスワードは、この部分のエディットボックスに 30 文字(半角英数字)で入力してください。この機能は外出用のノート PC など用途によっては、セキュリティを低めることになるのでご注意下さい。(パスワードを毎回入力しない)のチェックを外すと、毎回パスワード入力画面が現れます。

⑦パスワードミステイク制限回数: パスワードエラーが、このエディットボックスの回数(半角英数字)を超えると、暗号ファイルは復元できなくなります。回数を0にすると、この機能は使われず、何度でもパスワードミスを許容します。

フォルダーの参照	×
フォルダを選択して下さい	
 ■ デスクトップ ▶ ♣ ホットワーク ▶ ライブラリ ▶ ■ Sayayoko ■ Computer ▶ ▲ ローカル ディスク (0:) ▶ ▲ BD-RE ドライブ (D:) ▶ ■ ローカル ディスク (E:) ▲ ■ WorkData (F:) ▶ ▲ \$RECYCLE BIN 	4 III A
OK * *2	rtun 🛛

<u>⑧ヴローバル ID</u>: ここではグループ ID の 128Bit を 32Bit4 桁に分けて設定します。各エディットボックス毎に半角英数字で 0~4294967295 を指定して下さい。 0,0,0,0 となったグループ ID は破損とみなされますので、この値は設定しないで下さい。

暗号紋とグループ ID の違いについて

CS101 で提供される USB デバイスは全て個性を持っており、1 台として同じものは存在しません。本ソフトウェアでは、これを暗号ファイルの鍵の生成要素に使うため、暗号化したファイルを復元するには、必ず同じ USB デバイスが必要です。よって暗号ファイルとパスワードが情報流出したとしても USB デバイスが盗まれなければ、その暗号ファイルは安全です。但し、これではメールやイントラネットを通じて、複数の人で暗号情報を共有すること はできませんから、この暗号紋の代わりに、グループ ID を使用することが可能です。グループ ID は、128Bit で、設定の都度時間がかかりますから、数値の自動生成ツールを使って解析するのは困難です。

3.ファイルやフォルダの暗号化

アプリケーションに平文(元ファイルや元フォルダ)をドラッグアンドドロップするか、"ファイルを指定して暗号化"又は"フォルダを指定して暗号化"ボタンを クリックしてください。



設定画面で、"パスワードを毎回入力しない"のチェックボックスが無効であれば以下のようなパスワード入力画面が現れますので、ここで半角英数字 で 30 文字以内のパスワードを入力してください。



OK ボタンを押すと次に進みます。設定画面で、"パスワードを毎回入力しない"のチェックボックスが有効であれば、この工程は省略されます。次に"ファイルを指定して暗号化"の場合には以下左のダイアログが出ますので、暗号化したいファイルを選択して、開くボタンをクリックするか、選択ファイルをダ ブルクリックして次に進みます。また"フォルダを指定して暗号化"を選択した場合には以下右のダイアログが出ますので、フォルダを指定して下さい。 OK をクリックして次に進みます。

ファイルを選んでください		1000			×	フォルダーの参照	×
CO- 🦾 « Z_DATA 🕨	CryptoSoftware > TE	MP -	・ く TEMPの検索		2	フォルダを選択して下さい	
整理 ▼ 新しいフォルダ・	-				0	a 🏭 CryptoSoftware	•
☆ お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ		► ► bkup CryptoConsole	
↓ ダウンロード ■ デスクトップ	DSP.EXE	2008/05/03 13:15	アプリケーション	69,066 KB		Documents SOURCE TEMP	
 32 最近表示した場所 32 最近表示した場所 33 最近表示した場所 						USB_Initialize	
-						GuardKey keyence3	-
>1555 F=1X2F						ОК	キャンセル
 ■ ピクチャ ■ ドデオ 							
ファイル	(凶):		▼ Free(*.*)		-		
		~ルプ(上	1) 開<(0)	キャンセル			

ファイル選択またはフォルダ参照ダイアログでファイルやフォルダを選択すると、元の画面に戻り、進捗状況がプログレスバーで表示されます。圧縮中は 黄色(フォルダの暗号のみ)、暗号化中は赤のプログレスバーです。圧縮時のプログレスバーは通常何回も往来します。暗号化のプログレスバーは 0-100%の進捗状況を表すので、ちょうど真中で 50%です。



PAGE4 8/13/2015

最後に以下のメッセージボックスが出ますので、OK をクリックして下さい。



途中で処理を中断には、"中断"ボタンをクリックしてください。処理中の内容によっては中断まで時間がかかる場合があります。



4.暗号化ファイルの復元

"暗号ファイルの復元"ボタンをクリックしてください。設定画面で、"パスワードを毎回入力しない"のチェックボックスが無効であれば以下のようなパスワ ード入力画面が現れますので、ここで半角英数字で 30 文字以内のパスワードを入力し OK ボタンをクリックてください。設定画面で、"パスワードを 毎回入力しない"のチェックボックスが有効であれば、この工程は省略されます。

 □ 77/1ルを指定して暗号化 □ 77/1ルを指定して暗号化 □ 77/1ルを指定して暗号化 □ 77/1ルの復元 ○ 曲号 77/1ルの復元 ○ 中断 ○ 設定 ○ 終了 ○ 待機中です パスワード画面が出ます("パスワードを毎回入力しない"の設定をオフにしている 	5 場合の み)
パスワードを入力してください	

次に案暗号ファイルを選ぶ為、以下のダイアログが出ますので、暗号ファイルを選択して、開くボタンをクリックするか、選択ファイルをダブルクリックして次 に進みます。(暗号ファイルの拡張子は ncr)

ファイルを選んでください				×
💮 🕞 - 📙 « Z_DATA	 CryptoSoftware TEM 	P 🗸	↓ TEMPの検索	۶
整理 ▼ 新しいフォルタ	Ĩ—			ii • 🔟 🔞
📩 お気に入り 🔶	名前	更新日時	種類	サイズ
] ダウンロード	DSP.ncr	2011/11/08 17:00	NCR ファイル	86,333 KB
📃 デスクトップ 📱				
💹 最近表示した場所				
🔤 録画一覧				
🍃 ライブラリ				
📑 ドキュメント				
📓 ピクチャ				
₩ ビデオ 🍼				
ファイ	「ル名(ℕ):		 Crypt file(*.n 	cr) 🔻
		へレプ(<u>F</u>]) 開<(0)	キャンセル
		-		

PAGE5 8/13/2015

暗号ファイルを指定すると元の画面に戻り、進捗状況がプログレスバーで表示されます。暗号ファイル復元中は青、圧縮ファイル解凍中は黄色(フォ ルダの暗号のみ)のプログレスバーです。圧縮解凍時(黄色)のプログレスバーは通常何回も往来します。復元時のプログレスバー(青色)は 0-100%の進捗状況を表すので、ちょうど真中で 50%です。



最後に以下のメッセージボックスが出ますので、OK をクリックして下さい。



途中で処理を中断するには"中断"ボタンをクリックしてください。処理中の内容によっては中断まで時間がかかる場合があります。



5.情報の取得

暗号ファイルの暗号化設定情報を表示することが出来ます。"暗号ファイルの情報取得"ボタンをクリックしてください。



暗号ファイルを選ぶ為、以下のダイアログが出ますので、暗号ファイルを選択して、開くボタンをクリックするか、選択ファイルをダブルクリックして次に進みます。(暗号ファイルの拡張子は ncr)

ファイルを運んでください				— ×
🐨 🕞 - 📕 « Z_D	ATA 🖡 CryptoSoftware 🖡 TEMF	, .	▲ TEMPの検索	Q
整理 ▼ 新しいフ;	オルダー			ii • 🖬 🔞
🚖 お気に入り	▲ 名前 [▲]	更新日時	種類	サイズ
🔰 ダウンロード	DSP.ncr	2011/11/08 17:00	NCR ファイル	86,333 KB
📃 デスクトップ	E			
📃 最近表示した場所				
🔜 録画一覧				
⇒イブラリ ドキュメント ピクチャ ドナオ	*			
-	7ァイル名(<u>N</u>):	~\Lプ(<u>H</u>	 Crypt file(*.n I) 開<(0) ▼ 	cr) ・ キャンセル

PAGE6 8/13/2015

暗号ファイルを選択すると、以下のメッセージボックスが現れ、各種情報を表示します。



6.暗号前と暗号化後(簡単な効果の説明です) 以下は暗号化前の平文(元ファイル)です。ひたすら0が続く単純なファイルのバイナリダンプ結果です。

<u>e</u>																		
77-	(NE)	編集	(E)	検索	추(<u>M</u>)	表	₩)										
4		% [D (3	\square	0	: Di	<i>i</i> A										
		+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	0123456789ABCDEF
000	0370	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	00000000000000000000
000	0380	30	30	30	30	0D	0A	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	00000000000000
000	0390	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	00000000000000000000
000	03A0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	03B0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0300	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	03D0	30	30	30	30	30	30	0D	0A	30	30	30	30	30	30	30	30	00000000000000
000	03E0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	03F0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0400	- 30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0410	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	00000000000000000000
000	0420	30	30	30	30	30	30	30	30	0D	θA	30	30	30	30	30	30	0000000000000
000	0430	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0440	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0450	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000
000	0460	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	0470	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	0D	0A	30	30	30	30	00000000000000
000	0480	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000
000	0490	- 30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	04A0	-30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	04B0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	000000000000000000000000000000000000000
000	04C0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	0D	0A	30	30	0000000000000

これを暗号化した結果は次の通りです。単純なパターンは消失し、複雑で周期性のない数値が続きます。 SEX7 DATA

	E#Z D/	ATA¥ZI	ERO.	ner -	BJa	il												
77	∼イル(E)	編集	E)	検索	帮(M)	表	πW)										
-		×.	n (81	0	[]]ī	Ŀ₿↓	ĝ9										
	-		.1	10	12		16	10	.7	10	10	. 6	1D	10	-D			01004567004000000
nn	00270	52	19	9.4	- 	CR	76	AQ	τ <i>1</i> ΛQ	AR	18	RE	TD RE	07	97	CR CR	15	DI 23430783ADUDER
nn	00370	84	46	46	1/	52	50	QA.	98	LCR.	10	19	ÅD	ĂŔ	12	52	56	RP I RV
ňň	00390	94	9Ĕ	ĈŘ	40	19	ÅĒ	ÅŔ	44	FŔ	ĒŇ	2Ĕ	28	7Ĕ	Få	ΪŇ	ĩŠ	1 (
ňň	00340	ĂŔ	1Ē	52	54	94	92	ñŘ	40	Ăġ	43	ĀŔ	ñĚ	40	44	88	82	R7 0 0.1
ŏŏ	003B0		50	ŘŘ	В7	Å6	1Å	52	5Ě	9Å	96	CŘ	44	ÅÅ	Δ7	Ă6	18	.PR^D
00	00300	52	ŠČ	9Å	89	0Ē	82	6D	6Ē	Å6	ŎĞ	52	42	9Å	97	0Ē	9Č	R¥mlRB
00	003D0	6D	6Ē	A6	04	52	40	9Ā	88	CB	5Å	À9	BD	A6	3F	6F	7B	mnR@Z?o{
00	003E0	A7	B3	F6	61	94	82	A6	00	52	44	9A	8C	CB	5E	Д9	B1	aRD^
00	003F0	A6	0E	52	4A	9A	82	CB	50	Д9	B3	A6	00	52	48	9A	80	RJPRH
00	00400	CB	52	А9	B5	A6	0A	52	4E	9A	86	CB	54	Д9	B7	A6	08	.RRNT
00	00410	52	4C	9A	84	СB	56	А9	89	A6	36	52	72	9A	BA	CB	68	RLV6Rrh
00	00420	А9	8B	A6	AD	СB	E9	03	21	52	EC	2F	4B	A6	Α9	C9	ED	!R./K
00	00430	01	25	50	E8	2D	4B	A6	52	30	16	F8	DE	Д9	0C	CB	E3	.%PK.R0
00	00440	A6	3E	52	7A	9A	B2	CB	60	Д9	83	A6	E0	8E	Α4	46	6C	.>Rz`Fl 📄
00	00450	- 17	BE	75	59	<u>A6</u>	C5	AD	81	65	49	34	9B	56	78	A6	4Ç	uYeI4.Vx.L
00	00460	26	-08	EE	ĊŬ.	BF	12	DD	ED	<u>A6</u>	26	52	62	9A	AA	CB	78	ååRb×
00	00470	A9	9B	A6	13	65	57	AD	9F	FC	4D	9E	AA	A6	DD	AD	99	eWM
00	00480	65	51	34	83	56	60	A6	Ç4	B6	80	/E	48	2F	9A	4U	/5	eQ4.V H/.Mu
UU	00490	Ab	Ľ5	50	58	A8	۶Ŭ	Fâ	42	86	ΒÜ	A6	Ŭŝ	/4	4E	ŘČ.	86	. <u>.</u> XBtN
00	004A0	ĔŬ	54	92	AL.	A6	52	BA	86	72	4E	23	90	4	1	Ab	ËÈ	. IrN#.A
00	00480	94	AA	30	6Z	υU	BU	5	5	Ab 07	F7	83	B3	18	7B	ZA	A9 E 0	¥D00, [[*.
00	00400	48 QA	4.A 0E	A0 CB	10	DE #Q	AE	70	69	24	20	40	41	80	26	D2	JO NG	I by 6

再び平文を暗号化すると同じ結果にはなりません。

€.#2_DA	1 MEZERIC	Arior -	. Dla													
ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	検知	蓉(<u>M</u>)	表	⊼₩											
💷 🖵	× D	8	\square	Dī	; DŦ	ĝ9										
	+() +	1 +2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	0123456789ABCDEF
0000370	EF 1	7 CC	34	89	7F	00	00	00	F3	E2	E2	C1	C1	84	8A	4
0000380	0D 09	5 00	F6	EF	E7	00	C4	89	8F	00	10	00	EE	EF	FF	
0000390	CC D	C 89	97	00	18	00	52	5B	43	78	60	3D	2B	B4	94	R[Cx`=+
00003A0	00 DE	E EF	CF	CC	EC	89	Å7	00	28	00	C4	FD	D5	DE	F6	
00003B0	9B BI) 12	22	00	CE	EF	DF	CC	FC	89	B7	00	38	00	C6	
00003C0	EF Di	7 CC	80	9A	AC	13	17	00	ΒE	EF	AF	CC	F8	9A	D4	
00003D0	13 11	= 00	B6	EF	Α7	CC	84	89	CF	00	50	00	93	D2	82	P
00003E0	F1 A	1 B4	EА	3D	65	00	A6	EF	Β7	CC	94	89	DF	00	60	=e`
00003F0	00 9E	E EF	8F	CC	AC	89	E7	00	68	00	96	EF	87	CC	Α4	hh
0000400	89 EF	= 00	70	00	8E	EF	9F	CC	BC	89	F7	00	78	00	86	pX
0000410	EF 91	7 CC	B4	89	FF	00	80	00	7E	EF	6F	CC	4C	89	07	
0000420	00 88	3 00	10	89	01	ДΑ	22	EF	15	1A	8B	00	0A	8B	1B	
0000430	A8 38	3 ED	0F	18	81	00	04	8D	15	ΑE	36	EB	7D	62	C2	.86.}b.
0000440	00 51	E EF	4F	CC	6C	89	27	00	А8	00	88	33	9B	10	B8	.^.0.1.'3
0000450	55 F.	B DC	6C	00	B1	10	A0	33	83	76	C8	FF	47	00	32	Ul3.vG.2
0000460	9B 23	3 B8	00	FD	4B	74	B4	00	3E	EF	2F	CC	0C	89	47	.#Kt>./G
0000470	- 00 CS	3 00	01	D8	10	FB	33	BE	78	37	E7	00	D1	10	C0	3.×7
0000480	33 E	3 76	А8	FF	27	00	C2	0B	D3	28	F0	6D	BB	Ε4	04	3.v'(.m
0000490	- 00 F!	5 63	83	40	Α0	05	ΕB	F8	10	00	E9	77	9F	54	BC	c.@w.T.
00004A0	11 F	7 EC	10	00	E6	07	F7	24	D4	61	9F	E8	10	00	C0	\$.a
00004B0	29 D	1 0A	F2	4F	B9	06	06	00	1F	0E	0E	2D	2D	68	66)0hf
00004C0	E1 E9	3 00	1A	03	0B	20	28	65	63	EC	FC	00	EE	EF	FF	(ec

PAGE7 8/13/2015

7.注意点・その他

7.1 本仕様書の扱い

く製品との相違>

本仕様書は、ご利用者が理解しやすいよう努力しておりますが、万一、本仕様書と製品が異なる場合には、製品を優先させていただき ます。また、本仕様書の主観的解釈の可能な個所についても、同様に、製品を優先とさせていただきます。

<品質と機能>

本製品の品質および機能が、ご利用者の使用目的に適合することを保証するものではありません。従って、本製品の選択導入はご利 用者の責任でおこなっていただき、本製品の使用や、その結果の直接的または間接的ないかなる損害についても弊社は保証致しませ ん。

<バージョンアップ>

ドライバや仕様書のバージョンアップや修正などを、ホームページ、メール、CDROMの配布等の何らかの手法で提供いたします。ただし、 弊社の諸事情により迅速な対応がとれない場合もあります。また、これらは、その遂行義務を弊社が負うものではありません。

7.2 工業所有権、著作権

本製品の使用により、第三者の工業所有権・著作権に関わる問題が生じた場合、弊社の製造、製法に関わるもの以外については、弊 社はその責を負いませんのでご了承下さい。また、弊社の許可無しに、ソフトウェアに対するリバースエンジニアリングを禁止します。このよう な結果生じた損害についても、弊社はその責を負いません。